

関係各位

2022 年 6 月 27 日

株式会社パテント・リザルト

## 【化学】他社牽制力ランキング 2021

### トップ 3 は富士フィルム、三菱ケミカル、花王

弊社はこのほど「化学業界」の特許を対象に、2021 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別※に集計した「化学業界 他社牽制力ランキング 2021」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2021 年に最も引用された企業は、1 位 **富士フィルム**、2 位 **三菱ケミカル**、3 位 **花王**となりました。

#### 【化学業界 他社牽制力ランキング 2021 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	富士フィルム	4,001
2位	三菱ケミカル	1,887
3位	花王	1,597
4位	積水化学工業	1,262
5位	日東電工	1,165
6位	旭化成	1,025
7位	昭和電工マテリアルズ	995
8位	住友化学	968
9位	DIC	755
10位	三井化学	734

#### 【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2021 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2021 年 1 月から 12 月末までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2022 年 4 月 15 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 **富士フィルム**の最も引用された特許は「駆動耐久性及び発光特性が良好な発光素子」に関する技術で、半導体エネルギー研究所などの計15件の審査過程で引用されています。このほかには「配向性を有さない基板上に複合酸化物等の無機結晶性配向膜を成膜する方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、半導体エネルギー研究所の計12件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、富士フィルムの特許による影響を受けた件数が最も多い企業はキヤノン(237件)で、次いでコニカミノルタ(141件)となっています。

2位 **三菱ケミカル**の最も引用された特許は「熱膨張などで寸法変化が生じた場合に反りの発生が抑制されるガラス積層体」に関する技術で、ダイセルなどの計7件の審査過程で引用されています。このほかには「光取り出し効率を改善したフリップチップ型のGaN系発光素子」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ディスコの計7件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、三菱ケミカルの特許による影響を受けた件数が最も多い企業は大日本印刷(52件)で、次いで東レ(37件)です。

3位 **花王**の最も引用された特許は「親水性の均一性、液の透過性及び生産性に優れた長纖維不織布」に関する技術で、PROCTER & GAMBLEと三井化学の計5件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2021年に、花王の特許による影響を受けた件数が最も多い企業はユニ・チャーム(64件)で、次いでPROCTER & GAMBLE(61件)となっています。

4位 **積水化学工業**は「インクジェット法で容易に塗布でき、硬化性、透明性、バリア性に優れる有機エレクトロルミネッセンス表示素子用封止剤」が、5位 **日東電工**は「最大磁束密度を向上させた永久磁石」が、最も引用された特許として挙げられます。

\* \* \*

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

#### 【化学業界 他社牽制力ランキング 2021データ】

##### ▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

##### ▶価格：50,000 円（税抜）

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL : 03-5802-6580 FAX : 03-5802-8271 HP : <https://www.patentresult.co.jp/>